



成功大学と共同開催されるカリキュラム「ハイテクノロジー産業と環境保護」の開講状況

創新的な研究開発能力の上向 根付いた人材育成

2005年も専門技術人材育成計画を継続。台南園區では41クラスの訓練課程を開設し(バイオテクノロジー5クラス、オプトエレクトロニクス11クラス、半導体8クラス、通信情報4クラス、管理6クラス、その他6クラス)、高雄園區では6クラスが開講され、合計47クラスとなった。育成人材は延べ1,540人。

2005年に行われたテクノロジー科学工業園区人材育成補助計画は、補助金3,374万円を投じ、南部地域にある11箇所の大学・専門学校に計14個の育成カリキュラム補助をしている。バイオテクノロジー、通信情報、コンピュータ周辺、集積回路、精密機械、オプトエレクトロニクス等6大産業を包括し、大学生に産業界との接触機会を増やし、産業界の人材需要と育成人材の格差を埋めることを目標としていく。

2005年に初めて成功大学環境工学学科と協力し、カリキュラム「ハイテクノロジー産業と環境保護」を開講する。科学工業園区の環境管理制度、バイオテクノロジー製薬産業、オプトエレクトロニクス産業、集積回路等と環境保護等、に関わる4大テーマを中心に講義が行われていく。台南園區環境保護専門マネジメントと専門技術員を招き教授され、更に、学期末(6月16日と12月24日)に「ハイテクノロジー産業環境保護管理シンポジウム」を開催し、革新された産官学人材育成協力の成果を公にした。

革新的研究開発への奨励

2005年に革新研究発展奨励計画が実施され、新世紀(Genesis Photonics)、龍徳科技(Dragon Technology)、先寧電子(Sunnytec Electronics)、律勝科技(Microcosm Technology)、豆朋農業バイオテクノロジー(Global Mycology Biotechnology)と亞洲基因(AsiaGen)等、会社が提出した計画案6件が審査許可された。補助金額6,653万円に上る。更に、2004年に審査許可された14件の成果検収結果を基に、第二期補助金額6,617万円が支払われた。



2005年専門技術人材育成計画の開講状況